

2005年5月1日(日曜日)

あなたも福井女性会議に参加してみませんか

21世紀は女性の世紀です。

共働き率が全国一の福井の女性は、日本一元気な働き者です。

福井県では、元気で夢の持てる福井を創るため、県内在住の女性の方から、県政のさまざまな課題に対する清新な意見・提言を広くいただき、女性の持つ優れた感性、発想を県政に反映させることを目的に、平成15年度から「福井女性会議」を開催しています。

これまで「地域づくり・まちづくり」や「子育て支援」、また「子どもの安全を守る環境づくり」や「食育の推進」といったテーマについて、皆さんからいただいたご意見をもとに、具体的な事業として県政に反映させていただきました。

県では、もっとも皆さんのご意見をお聞きし、皆さんとともに県政を進めていきたいと考えています。皆さんの参加をお待ちしています！



平成16年度の会議の提言内容と対応状況

テーマ	主な提言	平成17年度で反映された主な県の取り組み	
子どもの安全を守る環境づくり	<p>1 学校と家庭と地域の連携による子どもの安全な環境づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆子ども110番の家の改善、「危険マップ」の改善と活用 ◆自主的な「見まわり隊」の支援、子どもを見守る「お出かけ運動」の推進 ◆地域内における団体間の連絡網の確立 ◆地域での危機管理機能の向上 ◆青少年育成推進員等の充実 ◆児童館や公民館の機能の充実 	<p>子ども安心3万人作戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇小学校区単位で子どもの登下校時等における見守り活動を展開するとともに、緊急の際に庇護する体制を強化します。 ◇子ども110番の家を見守り活動の中に取り込み、必要な改善を実施します。 ◇県、県教委、県警察が、市町村、県PTA連合会等と連携しながら、活動の指針・要領等のマニュアルを策定します。 ◇この活動の中で地域安全マップを活用します。 	<p>地域ぐるみ児童虐待防止体制整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇児童虐待防止地域協力員に対する研修を充実し、民生委員、児童委員等は、地域での児童虐待の発見、通告、調査、見守りを行います。 <p>子育てマイスター地域活動推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇子育てに関わりのある有資格者を、県が「子育てマイスター」として認定登録し、地域における子育てを支援します。
	<p>2 子育て、親育ての支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆親の育児不安の解消支援、小児療育の充実 ◆地域で子どもや保護者を育成・サポート ◆地域の人たちと子どもたちとのコミュニケーションの支援 ◆児童委員の見直し 	<p>ふくいマイタウン・パトロール隊育成・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇地域住民に自主的防犯活動を実践体験してもらい、ふくいマイタウン・パトロール隊への加入および新規結成を促進し、同パトロール隊への支援を充実します。 	<p>育児不安解消サポート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇子育てまなび塾を開催し、心理的な支援が必要な親に対して、精神科医、臨床心理士、児童相談所児童福祉司によるグループミーティングを実施し、育児不安やストレスの強い母親を支援します。
	<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域における危険情報等の伝達の強化 ◆子どもたちをとりまく原子力防災の充実 		<p>地域療育拠点設置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇小児療育センターまで遠距離の奥越、丹南、嶺南の障害のある児童に対し、それぞれ地域の医療機関に委託し、診療や訓練を実施します。
食育	<p>1 地域や家庭における食育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域での主体的な食育の取組みの推進、地域での幅広い食育指導体制の確立 ◆農業体験、調理体験等の推進 ◆食育ボランティアの充実、食育マニュアルの作成 ◆親や乳幼児における食育の推進 ◆若い世代への食育の推進 ◆家族ぐるみでの食の体験学習の推進 	<p>元気いきいき福井をつくる食育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育所、市町村保健センター、公民館等を核とした食育モデルの推進 ◇食育活動のモデル市町村を設定し、地域において親子や子どもを対象に、育てる→作る→食べるの一貫した体験を支援します。 	<p>栄養教諭の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇栄養教諭を配置し、食育の授業や生徒への個別指導を実施します。
	<p>2 教育現場における食育の推進について</p>	<p>食育ボランティアの養成、食育ボランティアの交流促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇食育ボランティアに対し、基礎研修を実施します。 	<p>「ごはん食」の実践による食生活改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇親子で学ぶ「ごはん食」学習エリアの設置や「ごはん食」レシピを作成します。 <p>伝承料理を活用した学校給食の場での食育推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇小・中学校で伝承料理を提供するとともに、伝承料理の由来等を指

- ◆ 先生の意識の向上
- ◆ 栄養士の役割強化
- ◆ 完全米飯給食ふくいを目指す

3 その他

- ◆ 福井型食育の全国へのPR
- ◆ イベントの開催

◇ 食育ボランティア同士が連携を図るための意見交換会や活動報告会を実施し、交流を促進します。

食育教材の整備

◇ 食育教材を整備し、食育ボランティアや学校・地域等に貸し出します。

食育活動マニュアルの作成、食育推進実務者の資質向上

◇ 食育ボランティア向けの食育活動マニュアルを作成します。

◇ 子どもの成長過程に合わせた食育を進めていくための研修を開催します。

導します。

「健康長寿」食育フォーラム(仮称)の開催

◇ 健康長寿を支える本県の食育を全国に発信するための食育フォーラムを開催します。

高校生の食選択力の向上

◇ 高校生ふくい食育王選手権大会(仮称)の開催や、高校における食の選択力向上の出前講座を実施します。

この会議に参加いただいたそれぞれのブロックの方に「女性会議」について語っていただきました。

福井・坂井・奥越ブロック「食育の推進」グループリーダー
西出 江里さん



「今、子どもを取り巻く環境が荒れていて、少年犯罪の低年齢化など、多くの問題があります。そこで、食を通じて命や心の大切さを子どもたちに伝えられたら、という想いから活動を始めたんです。メンバーみんなが熱い想いを持っていましたね」という西出さん。それぞれの小学校や中学校へ行き、食育の現状を調べたそうです。「グループには、さまざまな分野でお仕事をされている方がいて、いろいろな情報をいただけたことも、私にとって大きい成果です。食育について、地域はとても大切。私たちの子どもが大人になる未来の福井が明るくなるためには、自分の子だけじゃだめだ、と思うんです。広い視野で見えるようになったら、福井も変わるだろうな、とみなさんに出会えたおかげで、今感じています」西出さんの想いは食にとどまりません。「提言した内容については、結果として大体取り上げてもらえた。それは凄く嬉しいですね。“普通の主婦が言っているだけのこと”で終わっても当然かなと思ってたんだけど、みんなの想いが伝わった様な気がします。自分たちの県なんだな、ということを実感できた一年でした」。

新しい委員さんには「普通の女性として意見を言えればいいと思う。うてば響きます。県って硬いイメージがあったんだけど、結構柔軟性あるんじゃないかな。世の中を変えるのは女性です」とエールを送る西出さんから、熱いハートが伝わってきました。

丹南ブロック「子どもの安全を守る環境づくり」グループリーダー
藤田 まり代さん



丹南ブロックで「子どもの安全」について取り組んでいただいた藤田さん。

「特に地域が大事。顔の見える地域をつくるということ。子どもの安全を守る環境づくりのためには、家庭と地域の連携が一番重要。危険な人から身を守るだけではなく、地震や水害があったとき、高齢者や子どもが置いていかれるようなことはあっちゃいけないので、やっぱり声かけができる地域、それをみんなで考えました」。会議については、正直なところ私たちが時間を作り話し合い勉強した事を、どこまで県が聞いてくれるのか。一生懸命やっている事が報われるのだろうか、という思いが最後まであったそうです。「とりあえず自分たちで考えるきっかけをもらっただけでもよかったよなって話をしてたんです。でも、最後にちゃんとした県の対応報告をいただいて、意見書が実行に移される実感を得て、よかったなって、多分みんなそう思ったと思います」。

17年度の委員さんには「年齢を超えた友達や仲間と、熱い会話ができるというのは、楽しく、なかなかないチャンスだと思う。もちろん時間の束縛もあったり、悩んだりすることもあるんだけど、自分のためになると思う。興味のある人は、ぜひチャレンジしてください」そう語る藤田さんの目には、もう明日が映っていました。

嶺南ブロック「食育の推進」グループリーダー
田辺 佳子さん

「グループ員各自の市町村で、食育に関してどのようなことを行っているか、お互いに調べて持ち寄り勉強していくうちに、食育というのは奥が深いと実感しました。食べるというところから入っても、環境のことにつながっていったり、人が生きていくということにつながっていく。だからみんな一人ひとりが入り込んでいきました」そう語るのは嶺南ブロックに参加された田辺さん。「参加された方は、いろいろな世代の方が

いらっしやっただので、視点や見解が違う。でも、そういう機会があまりなかったので面白かった。グループの中には、実際に食育について活動されている方もいるし、私自身も、現在、取り組んでいる子育てサークルで食育活動に力をいれています」。

新しく応募される方に一言。「なかなか知事に直接話をする機会はないと思うし、生活の中の声を伝えていけるのはいいなと思います。自分たちの中だけで言っているんじゃなくて、ちゃんと県に声が届いて、結果を返してもらって、福井県の動きとか流れになっていく、そういうきっかけに自分たちもたずさわられるというのが面白いと思います。福井県を盛り上げていこうという気持ちがある人は、ぜひ参加してください」明るくさわやかな笑顔が印象的な田辺さんでした。



今年度の委員募集

平成17年度は、委員の方に次のテーマで県民の皆さん自らができることや、県が行政としてすべきことを話し合い、知事に提言していただきます。

平成17年度福井女性会議のテーマ	応募資格
1) 安全・安心な消費生活の実現に向けて ～自立した消費者をめざすための方策について～ 2) 「健康長寿な福井」をめざして ～健康・長寿を県民が享受するための健康・生きがいづくりのあり方について～	福井県内在住の満20歳以上の女性(平成17年4月1日現在)で、女性会議終了後も提言について地域で積極的に実践していただける方。なお、次の方は除きます。 ○地方公共団体の長および議会議員 ○国・県・市町村の審議会・委員会等の委員 ○国・県・市町村の職員 ○過去の福井女性会議の委員
募集人数	応募方法
50名	県庁や市町村役場などに置いてある所定の応募用紙に必要事項を記入し、下記の応募先まで郵送またはFAXでご応募ください。なお、県のホームページからもご応募いただけます。
任期	応募締切
委嘱日(平成17年6月)～平成18年3月	平成17年5月20日(金)必着
選考方法	応募・問合わせ先
応募者が募集人数を超えた場合は、住所、年齢のバランス等を考慮の上、決定させていただきます。なお、選考結果については、応募者に直接通知します。	〒910-8580(住所不要) 福井県総務部県民サービス室(県庁1階) TEL 0776-20-0221 FAX 0776-20-0622 【ホームページ・アドレス】 http://info.pref.fukui.jp/kenmin/ 【Eメール】 kenmin-s@pref.fukui.lg.jp
会議開催	
委員には、住所等を考慮の上、3ブロック(福井・坂井・奥越ブロック、丹南ブロック、嶺南ブロック)に分けて、それぞれ下記の予定で開催します。 [会議:2回、勉強会:随時]	